

令和6年度 第3回 学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立出来島支援学校
校長名	武 田 幸 造

開催日時	令和7年2月 26 日(水) 10:00～12:00
開催場所	府立出来島支援学校 4階 会議室
出席者(委員)	重田会長(大阪府教育庁教職員室)、瀧本副会長(大阪成蹊大学)
	藤木委員(出来島地域活動協議会)、島田委員(西淀川発達支援センターたんぽぽ)
	西井委員(株式会社あしすと阪急阪神)
出席者(学校)	武田校長、小野教頭、樋口教頭、木崎事務長
	花谷首席、上戸首席、和田首席
傍聴者	なし
協議資料	令和6年度 学校経営計画及び学校評価
	令和7年度 学校経営計画及び学校評価
	令和6年度 学校教育自己診断アンケート 結果分析(案)
	令和6年度 学校教育自己診断(児童生徒)集計結果
	令和6年度 学校教育自己診断(保護者)集計結果
	令和6年度 学校教育自己診断(教職員)集計結果
議題等(次第順)	
1. 令和6年度 学校教育自己診断結果及び結果分析 2. 令和6年度 学校経営計画及び学校評価(R6 評価案) 3. 令和7年度 学校経営計画及び学校評価(R7 計画案) 4. その他	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
1. 令和6年度 学校教育自己診断結果及び結果分析 学校教育自己診断に関する結果分析を別紙のとおりに説明(武田校長) 単純な数値結果で判断せず、児童生徒・保護者・教職員の集計結果を連動させ、分析結果を具体的に報告を行う。 ○質問及び意見等 委員) ・児童生徒向けアンケート(学校教育自己診断)に「楽しい」という表記があるが、児童生徒にとって「楽しい」とは どういうことか。例えば『〇〇が発言できて楽しい』などの具体的な内容を含めた質問であることが望ましいと感じる。 ・反省は年度末だけではない。日々振り返り、反省し、チャレンジすることが大切。	

- ・今回のアンケートは、それぞれの項目において目標となる数値を設定しているのか？ 数値設定を行うことが、次年度以降「今年度より上回る」などの目標設定につながるのではないかと。

委員)

- ・1年間、本当にありがとうございました。(デイサービスを利用している)小1の児童から楽しそうに「(今日)マクドナルドに行ってきた!」という感想が聞かれて、うれしく感じる。ただ、アンケート結果からは学校が楽しいと感じていない児童生徒がいる。その要因は何か考えられるか？
- ・障がいの程度が異なる児童生徒への配慮、工夫できることは何かないか？ 保護者から「うちの子は重度だから…」と諦めている保護者の声も耳にする。

委員)

- ・教職員のアンケート結果にもあるが、カリキュラム自体が、発達段階に幅がある児童生徒たちには少ししんどいものではないのか？

校長)

- ・本校の特徴としては、中学部・高等部は着替えをせず、他校は1限に自立活動を行いゆったりとした朝のスタートが多いが、本校は1限の 9:10 から学習指導要領に基づいて授業を始めている。その点が発達段階に幅がある児童生徒たちが過ごすカリキュラムとしては難しいと捉えられているのかもしれないが、座学や集団活動がしんどいときは個に応じた対応を行い、それぞれの児童生徒にも楽しいと感じる授業配慮を行っている。ただ、児童生徒同士が関わる・学びあうための授業改善は必要だと感じている。

委員)

- ・個別の指導計画をきちんとたてているのに児童生徒が疑問を感じている、ということは、はたして授業に対して個別の指導計画がしっかり反映されているのだろうか？ それが次年度の課題と思われる。

委員)

- ・これらの質問項目は、何かを参考にされているのか？

校長)

- ・教育庁通達文書や、昨年度まで在籍していた関係4校の資料を参考に作成した。

委員)

- ・先生方は担任以外にも児童生徒に声かけをしているのか？ その場合、質問内容に関する情報共有はどうしているのか？
- ・(共有した内容は)あしすと阪急阪神ではデータ管理(顔ナビ)を行っている。学校としてはこれらの情報管理はどのようにしているのか？
- ・小学部も含め将来の進路を考える場合、例えば小1の児童が社会の仕組みを理解することは難しく、将来的な基盤(下地)の必要性なども説明すべきではないか？

校長)

- ・企業で使われる顔ナビ、学校においては個別的教育支援計画にあたるものだと思う。本校はアセスメントツールを使用することで、学校として一人ひとりの課題を把握している。これは管理職も含め、担任以外の教員も、児童生徒の実態把握がしっかりできているので、担任任せではない。
- ・社会の仕組みは中学部の後半ぐらいから取り扱っている。社会に出ることの楽しみ、先輩の話を見聞きし、あこがれ、進路について考える。現在、このような取り組みを行っている。

委員)

- ・地域の役員として、他校の保護者からいじめ関係の相談があった。担任が対応すると思うが、担任が難しい場合は教頭？ それとも学校全体？？ あるいは第三者委員会など、どうやって解決しているのか？

校長)

・いじめ問題には役割を明確にしている。児童生徒に対して、いじめとは関係ない内容では担任が対応。いじめを受けたとされる児童生徒には関係機関と連携し、臨床心理士による定期的なききとりなども行っている。担任は別途、学習保障も行う。第三者委員会関係になると、教育庁とのやりとりも含め管理職が対応。このように、役割分担の明確化を行っている。

委員)

・開校1年目にしてはすごいがんばりと数字。今後に向けては SNS での発信に気をつけてほしい。SNS で『私は出来島支援学校の先生』と名乗って発信してしまうと、学校の意見、学校を背負って、ということになる。特に若手の教員はそういうことを知らずに発信している可能性があるため、十分注意喚起を行ってほしい。

・アンケートにある偏食に関する記載内容は事実であれば人権問題であるので、管理職からしっかり指導を行う必要がある。

・学校として一人ひとりの児童生徒をしっかり抱え込むことで、本人及び保護者が学校に来ることへの安心感につながる。どのようにしたら、そのように感じてもらえるのか。次年度の学校経営計画に反映させてほしい。

(2) 令和6年度 学校経営計画及び学校評価(R6 評価案)

学校計画及び学校評価を別紙のとおりに説明(武田校長)

委員)

・学校祭で有志が発表する場面があるが、児童生徒にとっての目標は、積極的に学校祭に参加するという全体的な目標設定なのか、有志の発表の場など、個別の活躍の場面での目標として設定しているのか。また、評価はどのようにされているのか。

校長)

・学校祭のコンセプトは、学校生活での取り組みの積み重ねをいかに活かすか。販売については、自分たちでこれまで製作してきたものが売れ、相手に喜んでいただけたかどうかを振り返ることができるし、発表の場面では、児童生徒の積極性を伸ばしたい担任の想いも大切にしたいので、それぞれの自立活動的な課題、日々の学習の成果発表の場として位置づけている。個別の教育支援計画や、指導計画(各教科)で評価が記載される部分もある。

委員)

・実際に学校祭に参加した。野菜や陶器など賑やかに販売されていたし、近隣の地域にも案内があり、参加することができてとても良かった。11 月には、地域のイベントにも出店していただいたので、また来年度も商店会と連携して参加していただきたい。

委員)

・学校祭で商品を選んでいて、接客を担当する生徒から「ゆっくりでいいですよ」と声をかけてもらったことが嬉しかった。学校祭には、出来島支援学校への就学を検討されている方も参加しており、教育相談を受ける前に学校の雰囲気や様子がわかる機会があり、安心できたという意見もあった。学校に負担にならない範囲で、今後も地域に開放される機会があれば良いと感じた。保護者に伝えたいメッセージが伝わる場になればよい。

委員)

・今年度の取り組みや成果を、児童生徒や保護者に広報する機会が足りなかったのではないかと。初年度だからこその課題ではあるが、周知が至らなかったところについては、次年度の学校経営計画で具体的な施策を含めて盛り込んでおけると良いのではないかと。

(3) 令和7年度 学校経営計画及び学校評価(R7 計画案)

学校計画及び学校評価を別紙のとおりに説明(武田校長)

委員)

・西淀川区自立支援協議会との連携について、また今後具体的な相談をさせていただきたい。

委員)

・高等部卒業後就労される方、卒業後すぐではなく、訓練校や福祉の力を借りて準備期間を経て就労される方など、今は様々な選択肢がある。小学部・中学部段階で、家庭でのお手伝いをしている人の就労率は弊社でも実証的に把握しているので、保護者の意識、児童生徒の意識を高めていただければと思う。

委員)

・研究授業は児童生徒に負担をかけてしまう場面ではあるが、できるだけ多くの先生方に参加していただけると良い。また、経験年数が少ない先生や、意見が言いやすい研究協議の場になると良い。

委員)

・数値目標に対して、『90%以上を維持し続ける』や、評価指標をもう少し具体的に表記するなど工夫されると良い。

校長)

・令和7年度の学校経営計画はICTの課題などもあるなか、内容を盛り込みすぎると中心課題がぶれることもあるので、重点的に取り組むことについて明記するようにした。数値目標や評価指標については、いただいたアドバイスを反映し、次年度に改めてご説明させていただきたい。

次回の会議日程

日時	令和7年6月頃 (時間は未定)
会場	出来島支援学校 4階 会議室